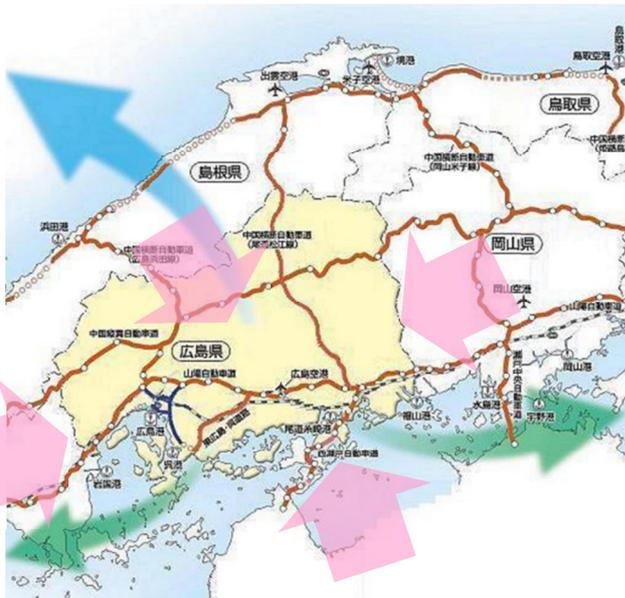


## IV-1 社会資本整備の重点化

- これまでの取組により、一定の社会資本ストックが築き上げられてきたものの、一方では、まだ整備が行き届いていない部分もあり、今後も引き続き、改善していく必要があります。
- プラン前半においては、これまで築き上げてきた社会資本が有する「強み」を活かした短期集中戦略を積極的に展開し「弱み」となっている部分についても、創意工夫を加えながら長期戦略として計画的に取り組んできたところです。
- これまでの取組により、井桁状の高速道路ネットワーク形成などの成果がありプラン後半においては、これまでの取組期間による戦略の展開に替えて、後半5年間で集中的に取り組む項目を選定して戦略的に整備を進めていきます。
- なお、戦略の構築に当たっては、SWOT分析法を用いています。  
(SWOT分析の詳細は、48～49pをご覧ください。)



### 社会潮流・地理的特性等

- ◆人口減少・少子高齢化
- ◆経済活動を始めとするグローバル化 など

### 社会資本の現状

- ◆整備が進んでおり、潜在機能を有している社会資本
- ◆整備が行き届いておらず、今後も改善すべき社会資本

### 10年後の社会資本のあるべき姿

- ◆アジアとの取引が活発化し、アジアを中心とする海外成長市場の獲得が進んでいます。
- ◆県境を越えて「ひと」が集まり、中四国地方における広島県の中核拠点性が向上しています。
- ◆企業活動を支える物流基盤の充実により、経済基盤の強化が進んでいます。
- ◆陸・海・空からのアクセス基盤が整備され、裾野の広い観光産業が発展しています。
- ◆観光インフラが整備され、「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」を確立しています。
- ◆再生可能エネルギーが利用され、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みづくりが進んでいます。
- ◆災害による被害を最小限にするための県土づくりが進んでいます。
- ◆これまで整備してきた公共土木施設が適切に維持管理され、安全で快適な日常生活を送っています。
- ◆支援や介護が必要な人が地域で安心して生活できる環境の整備が進んでいます。
- ◆安全で安心な交通環境の整備が進み、交通事故が減少しています。
- ◆コンパクトで利便性の高いまちづくりに取り組むことなどにより、機能的で魅力的な都市が形成されています。
- ◆中山間地域においては、中心市と周辺地域等との連携を支える基盤の整備など、安心を支える生活環境づくりが進んでいます。

社会資本整備の重点化

～広島県の底力を最大限発揮  
するための戦略的投資

前半の重点化

《短期・中期・長期に区分》

後半の重点化

《集中的に取り組む項目を選定》

課題抽出と戦略構築

強みを活かした  
短期集中戦略

【概ね前半5年間で集中的に取り組むもの】  
本県の底力を発揮していくため、本県の強みをより活かせる分野に短期集中的な戦略を展開

社会ニーズに応じた  
中期戦略

【計画中盤(概ね3~7年目)には軌道に乗るように取り組むもの】  
新たな社会ニーズに対応していくため、社会情勢の変化も踏まえながら中期的な戦略を展開

創意工夫を加えた  
長期戦略

【10年間継続して着実に取り組むもの】  
弱みや脅威を克服するため、ソフト対策を充実し、予防保全的な維持管理などの創意工夫を加えながら長期的な戦略を展開  
ただし、被災箇所の防災対策等については、短期集中的な取り組みを実施

【重点化方針①】 広域的な交流・連携基盤の強化

- ア 企業活動を支える物流基盤の充実
- イ グローバルゲートウェイ機能の強化
- ウ 「ひと・まち」をつなぐ広域道路ネットワークの構築

【重点化方針②】 集客・交流機能の強化とブランド力向上

- エ 観光振興に資する基盤整備
- オ 新たな魅力を創出するみなと環境の整備
- カ 空港機能の充実

【重点化方針③】 環境保全と循環型社会の構築

- キ 地域の実情に応じた効率的な污水处理
- ク 下水道未利用エネルギーの活用
- ケ 河川の底質改善、海域環境の改善(藻場・干潟)
- コ 水資源の有効活用

【重点化方針④】 防災・減災対策の充実・強化

- サ 平成26年8月土砂災害箇所での早期復旧
- シ 安全・安心な県土づくり
- ス 災害に強い道路ネットワークの充実
- セ 耐震化促進による地震防災対策

【重点化方針⑤】 自立した生活ができる環境の整備

- ソ 県営住宅の再編整備
- タ 主要施設周辺のバリアフリー化の推進

【重点化方針⑥】 総合的な交通安全対策の推進

- チ 安心できる道路空間の形成(歩道)
- ツ 放置艇への対策(船舶航行の安全確保)

【重点化方針⑦】 持続可能なまちづくり

- テ 魅力ある地域環境の創出
  - (ア) 中心市街地の活性化に資する市街地開発事業などの推進
  - (イ) 渋滞を緩和する道路の改善及び市街地を一体化する鉄道との立体交差化
  - (ウ) 合併後の地域づくりを支えるインフラ整備
  - ト 中山間地域等における生活交通の確保
  - (エ) 中山間地域の自立を支える生活交通の確保
  - (オ) 合併後の地域づくりを支えるインフラ整備
  - (カ) 都市的機能を享受できる広域交通網等の確保



## 重点化方針

## 1

～**広域的な交流・連携基盤の強化**（新たな経済成長）

本県の新たな経済成長への挑戦を支えるため、アジアの経済成長や国際化の進展に合わせたグローバルゲートウェイ機能の強化を図ってきました。

引き続き、広域的な行政需要への対応も視野に入れながら、平成26年度に形成された井桁状の高速道路ネットワークを活かしたICアクセス道路の整備や井桁状の高速道路ネットワークとグローバルゲートウェイや産業集積地をつなぐ広域交通ネットワークを強化するなど、企業活動を支える物流基盤の充実などに取り組みます。

## 【主な取組】

## ア 企業活動を支える物流基盤の充実

- ・ 広島都市圏における高速交通体系の確立  
～広島高速5号線, (一)広島海田線(高速関連) など
- ・ 物流機能を強化する広域交通ネットワークの構築  
～一般国道2号東広島バイパス・安芸バイパス, 一般国道2号松永道路, 一般国道2号西条バイパス(道照交差点), 一般国道185号休山改良 など
- ・ 県西部の物流拠点における広島市東西を結ぶ物流交通基盤の充実  
～広島南道路, 臨港道路廿日市草津線(広島港五日市地区) など
- ・ 物流拠点となる港湾における水深不足の解消等, 荷役効率化の推進  
～広島港宇品地区(大型船舶の岸壁整備及び泊地の水深確保), 福山港箕沖地区(大型船舶の航路の水深確保), 尾道糸崎港機織地区(大型船舶の航路・泊地の水深確保), 広島港海田地区(荷役機械の増設) など

## イ グローバルゲートウェイ機能の強化

- ・ 高速道路ネットワークとグローバルゲートウェイをつなぐ広域交通ネットワークの機能強化  
～一般国道2号東広島バイパス・安芸バイパス, 中国横断自動車道尾道松江線, 一般国道375号東広島・呉自動車道(大多田IC(仮称), 阿賀IC立体化), など

## ウ 「ひと・まち」をつなぐ広域道路ネットワークの構築

- ・ 高速道路ネットワークと地域資源をつなぎ, 中枢・中核都市圏の高次都市機能を強化  
～一般国道2号赤坂バイパス, 一般国道486号(尾道市御調町), (主)呉環状線(呉市警固屋, 阿賀南), (主)三原本郷線(三原市本郷町), (主)福山沼隈線(福山市草戸～熊野), (主)府中松永線・(都)栗柄広谷線(府中市栗柄町～高木町), (主)矢野安浦線(熊野町) など

【中国横断自動車道尾道松江線】



【広島高速道路（3号線）】



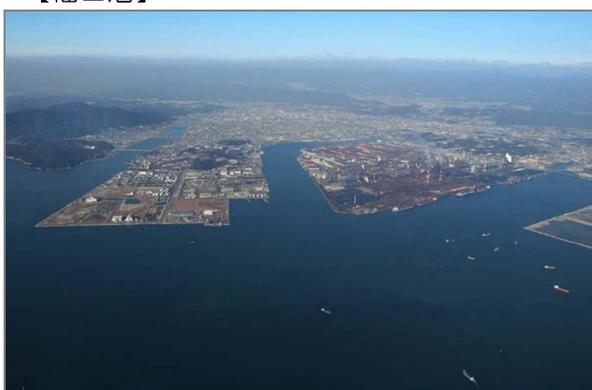
【一般国道375号東広島・呉自動車道】



【広島港】



【福山港】



【広島空港】



重点化方針

2

～**集客・交流機能の強化とブランド力向上**（新たな経済成長）

本県の豊かで魅力ある観光資源をいっそう活かすため、高速道路ネットワークと観光資源をつなぐ道路ネットワークや観光周遊を促進する道路ネットワークの強化に取り組んできました。

引き続き、これらへの取組を推進するとともに、クルーズ客船の誘致を進めるためのみなと環境の整備などを進め、本県のブランド力の更なる向上に取り組めます。

【主な取組】

エ 観光振興に資する基盤整備

- ・ 高速道路ネットワークと観光資源をつなぐネットワーク化の促進  
～一般国道432号賀茂バイパス, 一般国道432号竹原バイパス など
- ・ 観光周遊を促進するネットワーク形成  
～一般国道183号三次拡幅, (一)比婆山公園線(庄原市西城町) など
- ・ 世界遺産「厳島神社」の玄関口における港湾施設の充実  
～厳島港宮島口地区(旅客棧橋等整備)

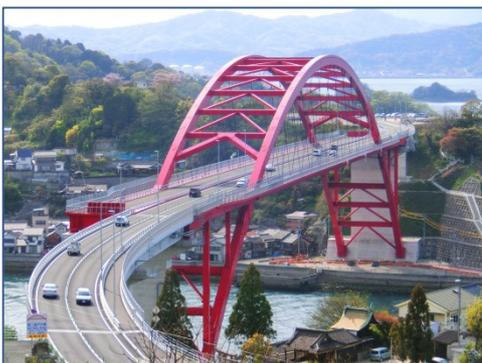
オ 新たな魅力を創出するみなと環境の整備

- ・ クルーズ客船の誘致を進めるための港湾施設の充実

カ 空港機能の充実

- ・ 定期路線の拡充に向けた空港施設・空港アクセスの充実

【国道487号(警固屋音戸バイパス)橋梁整備】



【厳島港宮島口地区(旅客棧橋等整備)】

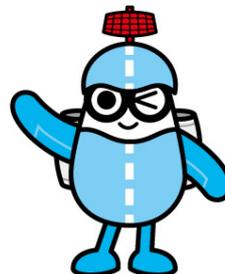


【広島空港の航空ネットワーク】



ソラミイ

「広島空港」のマスコットキャラクター



平成25(2013)年10月に広島空港開港20周年を記念して誕生。背中のジェットエンジンで空を飛び、いつも空の安全に気を配っている。大きな目は双眼鏡で遠くまで見ることができ、頭の上のレーダーで色々な情報をキャッチすることができる。滑走路をイメージしたボディスーツも特徴。

## 重点化方針

## 3

## ～環境保全と循環型社会の構築（安心な暮らしづくり）

下水道の普及を進めることにより，海や川の自然環境の保全に取り組むとともに，河川の底質改善，海域環境の改善（藻場・干潟），水資源の有効活用を図るなど，地球環境に配慮した取組を進めてきました。

引き続き，これらへの取組を推進するとともに，循環型社会の構築に向けて，下水汚泥の固形燃料化施設整備などによる未利用エネルギーの活用に取り組めます。

## 【主な取組】

- キ 地域の実情に応じた効率的な污水处理
  - ・污水处理システムの効率化（浄化槽など代替案の活用，共同処理の推進）
- ク 下水道未利用エネルギーの活用
  - ・下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての有効活用  
～芦田川流域下水道（芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化施設）
- ケ 河川の底質改善，海域環境の改善（藻場・干潟）
  - ・河床の底質改善や失われた藻場・干潟等の浅海域の保全・再生  
～広島港五日市地区（干潟造成），福山港内港地区（底質改善） など
- コ 水資源の有効活用
  - ・ダム放流水を活用した小水力発電  
～福富ダム

【下水処理水を利用した修景池（東部浄化センター）】



【広島港五日市干潟（水鳥の楽園）】



【「福富ダム」と「しゃくなげ大橋」】



【福山港内港地区（底質改善）】



## 重点化方針

## 4

～**防災・減災対策の充実・強化**（安心な暮らしづくり）

多発している局地的豪雨等による自然災害に対応し、想定される被害を軽減させるため、優先度の高い箇所から着実に、防災施設整備などを進めてきました。

平成 26（2014）年 8 月に発生した土砂災害では大きな被害が生じ、改めて急峻な山地や土砂災害危険箇所の多い本県における災害リスクが浮き彫りになっています。

このため、今後も、災害時の被害を最小限にするための県土の構築に向けて、災害の発生状況を踏まえ緊急度の高い箇所から防災対策を実施するとともに、円滑な復旧救助活動を支援する緊急輸送道路ネットワークの機能強化等に取り組みます。

## 【主な取組】

## サ 平成 26（2014）年 8 月土砂災害箇所の早期復旧

- ・ 8. 20 土砂災害箇所における再度災害防止対策の実施

～根谷川支川 101（広島市安佐北区）、山根地区（広島市安佐北区）、県営緑丘住宅（広島市安佐南区） など

## シ 安全・安心な県土づくり

- ・ 災害の発生状況を踏まえ緊急度の高い箇所から防災対策を実施

高潮対応：H3 台風 19 号，H11 台風 18 号，H16 台風 16 号・18 号等

洪水対応：H11 広島市，H21, 22 呉市，H11 廿日市市，H11 竹原市，  
H7, 20, 21 福山市

土砂災害対策：H11. 6. 29 豪雨，H22. 7 豪雨

～二級河川堺川，広島港海岸，福山港海岸，尾道糸崎港海岸（高潮対策事業）など

- ・ 要配慮者利用施設等を保全対象に含む土砂災害危険箇所の整備を重点化

## ス 災害に強い道路ネットワークの充実

- ・ 災害等有事の際に緊急車両の輸送路となる緊急輸送道路ネットワークの機能強化

～一般国道 2 号木原道路，一般国道 1 8 2 号（福山市加茂町百谷），一般国道

1 9 1 号（安芸太田町坪野），（主）呉平谷線（呉市上二河～此原），（主）三原東城線（三原市八坂町） など

- ・ 災害対応能力の向上に資する多重型道路ネットワークの形成

～一般国道 1 8 4 号尾道拡幅，一般国道 1 8 6 号御園バイパス など

セ 耐震化促進による地震防災対策

- ・ 緊急輸送道路における橋梁耐震補強の推進  
 ～一般国道487号早瀬大橋，一般国道186号翠橋 など
- ・ 東日本大震災（地震・津波）を教訓とした河川・海岸堤防等の耐震補強  
 ～一級河川京橋川，広島港海岸，尾道糸崎港海岸 など
- ・ 港湾施設の耐震化の推進  
 ～広島港宇品地区(耐震強化岸壁)
- ・ 住宅，建築物等の耐震化の推進

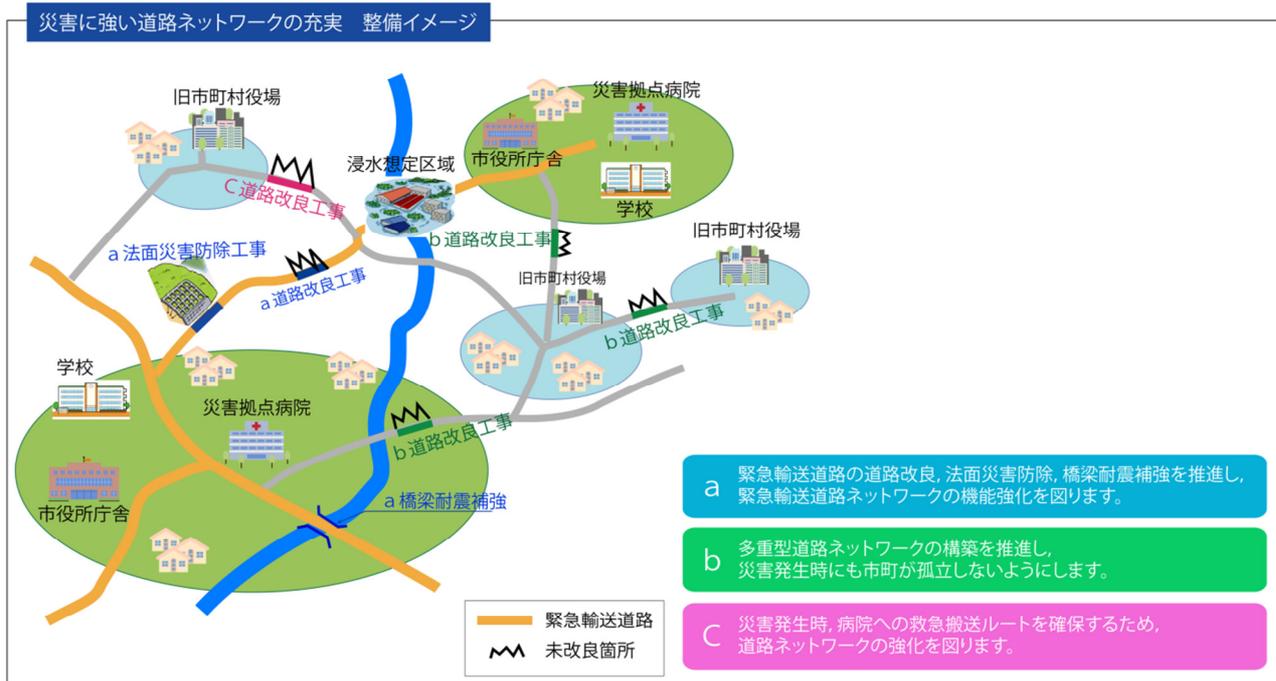
【8.20 土砂災害箇所における再度災害防止対策】



【要配慮者利用施設を守る事業】



【災害に強い道路ネットワークの充実[イメージ]】



重点化方針

5

～**自立した生活ができる環境の整備**（安心な暮らしづくり）

人口減少社会や、長期にわたる景気の低迷を背景として、住宅セーフティネットの重要性が増していることに配慮しつつ、県民の日常生活を維持していくために、県営住宅の再編整備を進めてきたところであり、引き続き、取組を進めていきます。

また、高齢化社会の中、支援や介護が必要な人が地域で安心して生活できるようにバリアフリー化を進めるなど、引き続き、誰もが暮らしやすい環境を整備します。

【主な取組】

ソ 県営住宅の再編整備

- ・建替統廃合の推進  
～県営吉島住宅
- ・広島市との連携強化  
～管理運営一本化に向けた取組

タ 主要施設周辺のバリアフリー化の推進

- ・港湾旅客ターミナル等のバリアフリー化の推進  
～厳島港胡町地区（回廊整備）、宮島口地区（旅客栈橋等整備）〔再掲〕

【県営吉島住宅（広島市中区）】



## 重点化方針

## 6

～**総合的な交通安全対策の推進**（安心な暮らしづくり）

通学路や事故危険箇所を中心に，歩道の新設や拡幅，バリアフリー化などを進めてきたところであり，プラン後半においては，特に，教育委員会，警察等の関係機関と連携して策定した通学路交通安全プログラムに基づいた交通安全対策を強力に推進していきます。

また，引き続き，放置艇対策により船舶航行の安全確保に取り組めます。

## 【主な取組】

## チ 安心できる道路空間の形成（歩道）

- ・バリアフリー化や教育委員会，警察等の関係機関と連携して策定した通学路交通安全プログラムに基づいた交通安全対策の推進  
～一般国道2号（廿日市市新宮），一般国道432号（府中市上下町），（主）吉田  
 邑南線（安芸高田市美土里町），（一）造賀八本松線（東広島市八本松町）など

## ツ 放置艇への対策（船舶航行の安全確保）

- ・船舶係留施設整備に合わせた放置等禁止区域等内の放置艇の一扫  
～尾道糸崎港山波地区（係留施設整備），福山港一文字地区（係留施設整備）など

## 【（主）吉田邑南線（安芸高田市美土里町）】



## 【ボートパーク福山（福山港一文字地区）】



重点化方針

7

～持続可能なまちづくり（豊かな地域づくり）

テ 魅力ある地域環境の創出

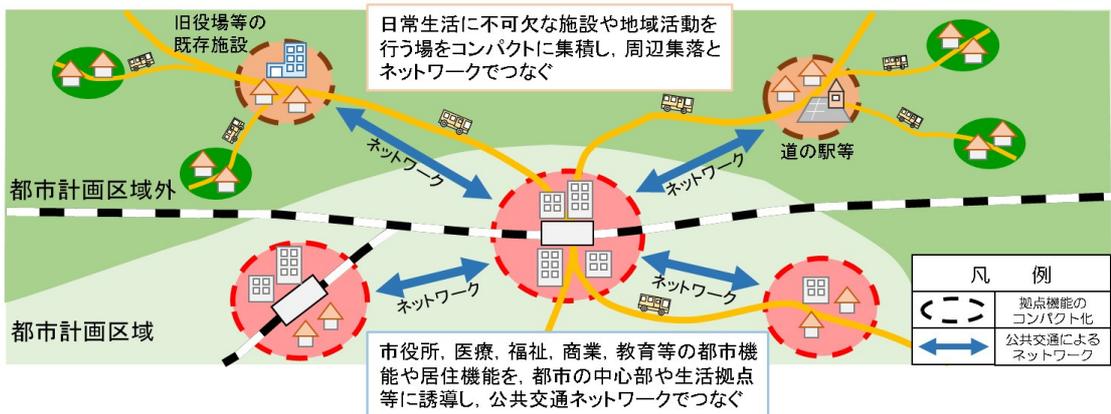
少子・高齢化，人口減少が進む中であっても，生活サービスを効率的に提供するための拠点機能の「コンパクト化」，地域の公共交通網再構築と高次の都市機能維持に必要な圏域人口の確保を図る「ネットワーク化」のいわゆる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現が求められています。

こうした観点から，効率的なまちづくりを進めるため，都市計画制度の積極的な運用により市街地の拡大を抑制する一方で，市街地の有効な土地利用を促進し，コンパクトで住みやすく豊かなまちづくりを進めるとともに，円滑な都市活動を支え，地域活動の活性化に取り組みます。

【主な取組】

- (ア) 中心市街地の活性化に資する市街地開発事業などの推進  
～広島駅南口Bブロック地区，広島駅南口Cブロック地区
- (イ) 渋滞を緩和する道路の改善及び市街地を一体化する鉄道との立体交差化  
～(主)大竹湯来線（大竹市玖波），(一)三谷神辺線（福山市神辺町），(一)坂小屋浦線（坂町平成ヶ浜～坂東），(都)青崎池尻線（府中町桃山），(都)廿日市駅通線（廿日市市駅前），(都)広島市東部地区連続立体交差（府中町～海田町）など
- (ウ) 合併後の地域づくりを支えるインフラ整備  
～一般国道313号神辺バイパス，一般国道375号御薊宇バイパス など

コンパクト・プラス・ネットワーク〔イメージ〕



【広島駅南口Bブロック地区市街地再開発事業のイメージパース】



**ト 中山間地域等における生活交通の確保**

これまで、地域連携を支える広域交通網による市町中心地などへのアクセス性の確保や都市的サービスを楽しむことができる環境整備に取り組んできました。

引き続き、どの地域に住んでいても必要最低限の公共サービスが得られるよう、地域の自立を支える生活交通の円滑化や市町中心地とその周辺部の連携を強化し、地域づくりを支えるインフラ整備を推進していきます。

**【主な取組】****(エ) 中山間地域の自立を支える生活交通の確保**

～一般国道375号（唐香～引宇根）、厳島港胡町地区（回廊整備）[再掲]、宮島口地区（旅客栈橋等整備）[再掲]、鮎崎港垂水地区（浮栈橋）、中田港中町地区（浮栈橋） など

**(オ) 合併後の地域づくりを支えるインフラ整備**

～一般国道433号加計豊平バイパス、（主）吉舎油木線（神石高原町小島） など

**(カ) 都市的機能を楽しむことができる広域交通網等の確保**

～一般国道314号東城バイパス など